

95あるコート デュ ローヌ ヴィラージュのコミュニティの中で
地理的名称の付記が認められた22のコミュニティのひとつ「シニャルグ」の畑から

最良のグルナツシュ を厳選して造りました

高樹齢の
グルナツシュで造る
自信作

la granacha

コート デュ ローヌ ヴィラージュ シニャルグ
ラ グラナツチャ 2020
Côtes du Rhône Villages Signargues La Granacha

エステザルグ葡萄栽培者組合の中から、最良のグルナツシュを選びすぐって造ったワインです。樹齢は50~100年です。「南ローヌなのに、なんでグルナツシュ主体のワインを造らないの？」という要望が、リリースのきっかけとなりました。「グラナツチャ」はグルナツシュのことで、フランス名のグルナツシュとスペイン名のガルナツチャを掛け合わせたユニークなワイン名にしました。ワイナリーの周りにはあるテラス式の丸石がごろごろした畑です。収穫量は30hL/haまで抑えています。6ヶ月タンクで熟成させます。葡萄本来の甘さのある香りと果実味。酸と果実味のバランスが良いワインです。スパイシーですが、シラーとは異なったニュアンスがあります。



【赤・フルボディ】国/地域等：フランス/AOCコート デュ ローヌ ヴィラージュ
生産者：エステザルグ葡萄栽培者組合
葡萄品種：グルナツシュ 熟成：タンクで6ヶ月
品番：FB-053/JAN：4935919210539/容量：750ml **¥2,640**(本体価格¥2,400)



— エステザルグ葡萄栽培者組合 — Les Vignerons d'Estezargues

1965年に設立された組合で、約10軒のメンバーで構成される小規模な組合です。メンバーは、自分の畑は自分で管理し、最も良いものからおおよそ1/3の葡萄をドメーヌ名でリリース、1/3は組合名で瓶詰めし、残りはネゴシアンに売ってしまいます。畑仕事は各ドメーヌが行いますが、醸造設備は共有し、個人でワイン造りをするよりも負担が少なく、品質の良いワイン造りに集中できる環境が生まれています。栽培面積は約500haあり、年間160万本のワインを生産しています。各生産者の畑は可能な限り有機栽培で管理しており、化学肥料や除草剤は使用しません。この規模のワイナリーでは珍しく、SO2の使用はボトリング時のみで、濾過や清澄を行わないワインも多数あり、土壌が生み出す葡萄のピュアな味わいを生かすように醸造をしています。輸出が70%を占め、主に北米、EU諸国、日本に輸出されており、親しみやすい味わいはフランス以外でも愛されています。

